

プリンセス・ヌーラとモンスター

P3

ビスミッターヒツラフマーニツラヒーム

ある美しい春の朝、おひさまがキラキラと降り注ぐ中、イスラームの国のアズル宮殿に、かわいい女の子が生まれました。

アツラーの99の美名を愛していた王様とお妃様は、その中でも一番好きなお名前「アン・ヌール(光)」から、その女の子をヌーラという名前にしました。

P4

プリンセス・ヌーラは、自然に囲まれて、植物や動物が大好きな心優しいお姫様に育ちました。

プリンセス・ヌーラは、いつもお庭のかわいい小鳥たちやきれいな花を見て、色々なものを美しくお創りになったアツラーはすごいわ！と思い、「スフハーナツラー」(アツラーにたたえあれ)と言っていました。

P7

ある夜、プリンセス・ヌーラは、お城の中に迷い込んできた蛍を見つけてきました。

「まあ、きれいな蛍。でもどうしてこんなお城の中に入ったのかしら。」

プリンセス・ヌーラはそっと蛍を手に取りました。

「きっと家族とはぐれて、迷子になってお城の中に入ったんだわ。かわいそうに。この子を家族のところに返してあげましょう。」

P7

プリンセス・ヌーラは、お城を出る前に、アツラーが守ってくれるように、ドウアーを言うのを忘れませんでした。

「ビスミッター。タワツカルト・アラツラー。

ワ・ラー・ハウラ・ワ・ラー・クウワタ・イツラービツラー」

(私はアツラーの御名と共に始め、アツラーにのみすべてをゆだねます。

アツラーのほかに、どんな権威も威力もありません)

なぜなら、預言者ムハンマドさま(サツラツラーフ アライヒ ワサツラマ)は、このドウアーを言った人には、

「あなたのことは引き受けられ、あなたは(悪から)守られ、シャイターンは遠ざかります。」と言われると、教えてくれたからです。

P11

あたりはもう真まっ暗くらになっていました。でもプリンセス・ヌーラは、ドウア
ーのおかげで、何も怖こわくありませんでした。アツラーが一緒いっしょにいと、心こころが
とても強つよくなるからです。

プリンセス・ヌーラは、森もりの中なかに入はいると、蛍ほたるをそっとはなして森もりに返かえしてあ
げました。

「もう迷子まいごにならないように気きを付つけてね。ワツサラーム アライウム (あ
なたの上うへに 平安へいあんがありますように)」

P13

プリンセス・ヌーラがお城おしろに帰かえる道みちを歩あるいていると、突然とつぜん、2人ふたりの泥棒どろぼうがプ
リンセス・ヌーラの前まえに立たちはだかりました。

「きゃあ、たすけて！だれか！」プリンセス・ヌーラは思おもわすさけびました。
「誰だれがお前おまえの声こえを聴きくんだい？こんな暗闇くらやみの森もりの中なかで。誰だれもいやしないさ。」
泥棒どろぼうは意地悪いじわるそうに笑わらいました。

プリンセス・ヌーラは、すぐすぐにアツラーにドゥアらーしました。

「アツラー、どうか助たすけてください！」

P15

すると、空そらに光ひかりがたくさん集あつまり、見みる見みるうちにおおきく、二人ふたりの
泥棒どろぼうに襲おそい掛かかりました。

「ぎゃあー！！助たすけてくれ==！おばけだあ！！」

泥棒どろぼうたちは、大おおきな声こえで叫さけぶと、一いち目散もくさんに逃にげて
いきました。

P17

プリンセス・ヌーラもびっくりして逃にげようとすると、その光ひかりが笑え顔がおになりました。

「スフーナーナツラー」(アツラーにたたえあれ)

プリンセス・ヌーラは、アツラーのお力ちからに感かん動どうして言いいました。

P19

ひとつの光ひかりがプリンセス・ヌーラの手てに近ちかづいてきました。よく見みると、
先さきほどの蛍ほたるです。お化けおばけのように見みえたのは、蛍ほたるたちの光ひかりでした。

「まあ、ふたりの泥棒どろぼうを退治たいじしてくれたのが、こんなに小ちいさな蛍ほたるだなんて！」

「アルムドゥリッラー。(すべての^{さんび}賛美と^{かんしゃ}感謝はアッラーにあります)
 アッラー、^{わたし}私を^{たすけて}助けてくださって、^{ほんとう}本当にありがとうございます。」
 プリンセス・ヌーラは、^{あつら}アッラーのお^{やさしさ}優しさに^{かんげき}感激して、^{よろこび}喜びで^{むね}胸がいっぱいになりました。
 「アッラーは、いつも^{わたし}私を^{たすけて}助けてくださるわ。なんて^{あやさ}お優しいのかしら。
^{あるはむどうりっら}アルムドゥリッラー。」

P7

^{おしろ}お城に^{もどる}戻るまで、^{ほたる}蛍たちはプリンセス・ヌーラの^{まわり}周りを^{てらして}照らしていました。
^{ほたる}蛍の^{ひかり}光に^{つつまれて}包まれてプリンセス・ヌーラは^{いっそうつくしくみえました}一層美しく見えました。
^{あつら}アッラーは、^{まいご}迷子の^{ほたる}蛍に^{やさしく}やさしくしたプリンセス・ヌーラを^{たすけて}こうして助けて
 くださいました。^{まわり}周りの人に^{ひと}やさしくすると、^{あつら}アッラーは、^{ひと}その人に^{やさしく}やさしくしてくださるからです。
 プリンセス・ヌーラは、^{とき}どんな時も^{あつら}アッラーと^{いっしょ}一緒にいるので、いつも^{こころ}心が
 やすらかでした。

ムハンマドさま (サッラッラーフ アライヒ ワサッラマ) のハディース

「^{じひぶかいものたち}慈悲深い者達は、^{もつともじひふかきおかた}最も慈悲深きお方が、^{じひ}慈悲をかけてくださいます。
^{ちじょう}地上にいる^{もの}者たちに ^{じひ}慈悲をかけなさい。
^{てんじょう}天上のお方が^{おかた}あなた方に^{がた}慈悲を^{じひ}かけてくださいます。」

クイズ:

1. プリンセス・ヌーラの「ヌーラ」というのは、どんな意味ですか?
2. プリンセス・ヌーラが^{ほたる}蛍を^{もり}森に^{かえそう}返そうと^{そと}外に出る時、^{でるとき}何と言いましたか?
3. プリンセス・ヌーラは、^{よる}夜に^{もり}森の^{なか}中を^{あるいて}歩いていても^{こわく}怖くありませんでした。どうしてですか?
4. ^{どろぼう}泥棒が^{きた}来た時、プリンセス・ヌーラはどうしましたか?
5. アッラーは、^{ひと}どういう人に^{やさしく}やさしくしてくれますか?